

小学校・第3学年

総合的な学習の時間

単元（題材）名 西のチカラプロジェクト「たんけん！発見！
海田町の“いいね！”を伝えよう」

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

海田町の魅力って何だろう？
～私たちはどのように地域とかかわるとよいのだろう？～

② 単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）

- ・海田町にはどんな“いいね！”があるだろう。
- ・海田町の“いいね！”を海田町に住んでいる人や、海田町を訪れる人など、たくさんの人に伝えるにはどうしたらいいだろう。
- ・地域の魅力を知ることや、魅力を伝えることに、どんな意味があるだろうか。

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・「海田町名所せんべい」には、どのような思いがこめられているのだろうか。
- ・海田町の名所の「いいね！」を、誰に、何のために、どのように伝えたいだろうか。
- ・海田町の名所の「いいね！」を伝えるスライドやポスターに、どんなキャッチコピーを付けたいだろうか。
- ・自分たちが見つけた「いいね！」は、海田町に住んでいる人や、海田町を訪れる人など、たくさんの人に伝わっただろうか。自分の学び方や海田町への思いはどのように深まっただろうか。

- 1【知る】 「海田町名所せんべい」にこめられた思いを聞く場を設定し、海田町のよさに対する自他の認知について意識化を図る。
- 2【観る】 海田町のよさをどのように調べたり、誰に、どのように伝えたらよいか意見交換を行うことで見通しをもち、課題を設定する。
- 3【探る】 視点を明確にして、海田町の“いいね！”を調べる。スライドやポスターに書き表す事柄を決める話し合いをすることで、学びの深化を図る。
- 4【創る】 スライドやポスターを作成し、海田町の各公共施設に置かれているデジタルサイネージで映像を流してもらうことで、実社会とのつながりをもつ。
- 5【省みる】 自分たちの活動を振り返り、自分の学び方や海田町への思いの深まりについて省察する。

単元計画の
構想を立てる